

漢字・語彙力	論理的言語力	論理的読解力A	論理的読解力B	論理的思考力	論理的表現力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことばのつながり」、助詞・助動詞などの適切な使い方。	物語文を、主観を入れずに、客観的に読み取る力。あらすじ・情景描写、登場人物などの心情を把握する力。	論理的な文章を正確に理解する力。筆者の主張やその理由などを把握する力。文と文との論理的関係を理解する力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。絵を客観的に分析し、一文で表現する力。

《問題Ⅰ》 漢字・語彙力 (60点)

●答え

第一問

- (1) 【言葉】ア 【意味】ク
 (2) 【言葉】ウ 【意味】カ
 (3) 【言葉】エ 【意味】ケ

第二問

- (1) 引用 (2) 春夏 (3) 千里
 (4) 売店 (5) 黒板 (6) 勝負

第三問

- (1) 父はけわしい岩山に登った。
 (2) 白い雲が青空にうかぶ。
 (3) 手のこんだ細工をする。
 (4) わたしは安全な場所にひなんした。

■配点

第一問 各6点(言葉・意味 各3点)

第二問 各3点

第三問 各6点(ならべかえ・漢字 各3点)

◆解説

第二問 食べ物や飲み物の名前を使った慣用句です。よく使われる慣用句なので、意味をおぼえましょう。

第二問 小学二・三年生レベルの漢字です。前後の言葉から意味を考えるようにしましょう。

- (1) 「引用」とは、他の文章や事例をしょうかいすること。
 (2) 後に「秋冬」とあるので、四季を表す「春夏秋冬」。

(3) 「千里の道も一歩から」は、何事も手近なところから少しずつ着実に進めることが大切だという意味のことわざ。

- (4) 駅のどこで買ったかを考えます。
 (5) 直後に「に」とあるので、「どこに書いたかを考えます」。

(6) 直後に「する」とあるので、「勝負す

測定する能力

る。

第三問 「主語とじゅつ語」、「言葉のつながり」を考えます。主語とじゅつ語の位置が決まっているので、解答らんに合うように順番を考えましょう。

(1) 主語は「父は」で、じゅつ語は「登った」。「父は」↓「登った」、「けわしい」↓「岩山を」↓「登った」とつながります。

(2) 主語は「雲が」で、じゅつ語は「うかぶ」。「白い」↓「雲が」↓「うかぶ」。「青空に」↓「うかぶ」とつながります。

(3) じゅつ語は「する」で、主語は「手」というりやくされています。何をするかというと、「細工を」↓「する」。「手の」↓「こんだ」↓「細工を」とつながります。

(4) 主語は「わたしは」で、じゅつ語は「ひなんした」。「わたしは」↓「ひなんした」、「安全な」↓「場所に」↓「ひなんした」とつながります。

《問題Ⅱ》 論理的言語力 (20点)

●答え

第一問 (1) 【主語】タクシーが
 【じゅつ語】曲がった

(2) 【主語】タイムは
 【じゅつ語】速い

第二問 (1) 夜空に (2) かけた

第三問 (1) の (2) に (3) を
 (4) が

■配点

第一問 4点(主語・じゅつ語 各2点)

第二問 各2点 第三問 各2点

◆解説

第一問 じゅつ語から、主語を考えます。主語とじゅつ語がわかれば、文の大切なところ

ろがわかります。

(1) じゅつ語「曲がった」に対して、「何が」に当たるのが「タクシー」が。
 (2) じゅつ語「速い」に対して、「何が」に当たるのが「タイム」は。

第二問 言葉のつながりは意味から考えます。
 (1) 「冬の」は「夜空に」を説明する言葉。
 (2) 「そっと」は「かけた」を説明する言葉。

第三問 助詞の使い方をチェックしましょう。

《問題Ⅲ》 論理的読解力A (40点)

●答え

第一問 (1) ウ (2) イ (3) ア

第二問 おしろうさん・一つもくれない

第三問 (大そうおいしい) あめ

第四問 ア

第五問 小ぞう・わたしは死にます

第六問 エ

■配点

第一問 各2点

第二問 8点(各4点) 第三問 6点

第四問 6点 第五問 8点(各4点)

第六問 6点

◆解説

かならず問題文中に答えがあります。それをさがすようにしましょう。

第一問 (1) 直後に「くしてはならない」とあるので、「けつして」。

(2) おしろうさんが出て行ってすぐにつばを出したのだから、「さっそく」。

(3) ねこが急にじゃれかかって来たのだから、「いきなり」。

第二問 「それ」が指す内容は直前に書いてあります。

第三問 2段落目に、おしようさんが、もらった「大そうおいしいあめ」をつぼの中に入れて、ぶつだんの下にかくしていたことが書いてあります。

第四問 おしようさんは、自分がいない間に小ぞうにあめを食べられなくなかったので、つぼの中にあるのは毒薬だとうそをついたのです。

イ つぼの中にあるのは毒薬ではないから、×。

ウ 小ぞうをこわがらせるためではないから、×。

エ 茶わんをわらないようにするためではないから、×。

第五問 直前に「だしぬけにみょうなことを言われて」とあるので、これが理由になります。「みょうなこと」とは、直前の小ぞうのセリフを指しますが、おしようさんがびっくりしたのは、「わたしは死にます」という言葉に対してです。

第六問 小ぞうは、おしようさんが大事にしている茶わん（お湯飲）をこわし、「死んで申しわけをするよりほかはないと思って」何をしたかを考えます。直後に、「毒が体中に回って、間もなく死ぬでしょう」とあるので、毒薬を食べて死のうとしたという意味の工が答え。小ぞうは、おしようさんが「毒薬」だと言ったものが本当は「あめ」だと知っていました。けれども、あめを食べたらおしようさんにおこられると思ったので、つぼの中にあるのは本当に毒薬だと信じていたとおしようさんと思わせるため、このようなおしぼいをしたのです。

《問題IV》

論理的思考力

(30点)

●答え

第一問 C ↓ A ↓ D ↓ B

第二問

- (1) ① ぼく ② 筆箱
- ③ わすれた ④ えん筆
- ⑤ かしてもらった
- (2) ① ぼく ② オムライス
- ③ 食べすぎた ④ プリン
- ⑤ 食べられなかった

■配点

第一問 10点 (完全解答)

第二問 各10点 (①～⑤ 各2点)

◆解説

第一問 A「でも」、D「なぜなら」があるので、最初はBかC。B「おくれたことをあやまった」より、C「遊ぶやくそくをした」方が先だから、最初はCとわかります。次に、A「やくそくの時間に」に行けなかった、その理由がDで、最後にBへつながります。

第二問 主語、じゅつ語、目的語がわかれば、文章の大切なところが分かります。

(1) 前半の文章の主語は「ぼくは」で、じゅつ語は「わすれた」、目的語は「筆箱」。「ぼくは筆箱をわすれた」という文が中心になります。後半では、主語が「ぼくは」、じゅつ語が「かしてもらった」、目的語は「えん筆を」なので、「(ぼくは) えん筆をかしてもらった」という文が中心になります。「だから」を「ので」に置きかえ、前半と後半の文の中心をつなぎます。

(2) 前半の文章の主語は「ぼくは」、じゅつ語は「食べすぎた」、目的語は「オムライスを」なので、文の中心は「ぼくはオムライスを食べすぎた」となります。後半の文章の主語は省略されていますが「ぼくは」で、じゅつ語は「食べられなかった」、目的語は「プリンを」なので、文の中心は「(ぼくは) プリンを食べられなかった」です。「だから」を「ので」に置きかえ、前半と後半の文の中心をつなぎます。

《問題V》

論理的読解力B

(30点)

●答え

- 第一問 (1) 貝がら
- (2) メープルシロップ (3) 台風
- 第二問 (1) 魚のしゅるい (について)
- (2) ① ウ ② オ ③ エ
- (3) ア・イ

■配点

第一問 各3点

第二問 (1) 6点 (2) 各3点

(3) 6点 (各3点)

◆解説

第一問 指示語の問題です。指示語は、多くの場合、前に書いたことを指すので、直前にある言葉から考えます。前にならない場合は後ろをさがしましょう。

- (1) 何を持って帰ったかというと、直前の「貝がら」。
- (2) 何をかけるかというと、直後の「メープルシロップ」。
- (3) 何が上陸するかというと、前文にある「台風」。

第二問

(1) この文章の話題を考えます。最初から最後まで「魚のしゅるい」についての話が続いています。話題は、魚のしゅるいです。

- (2) ① 直前で、「2万しゅるいの魚がいる」とあるのに対し、直後で「正かな数はくわかっていません」とひっくり返しているのが、「しかし」。
- ② すべての魚を調べるのがむずかしい理由として、魚は世界中のあらゆる場所に住んでいることに加えて、毎年新しいしゅるいの魚が発見されると言っているから、「そのうえ」。
- ③ 直前の「日本は」多くのしゅるいの魚がいる」の理由が直後に書かれているので、「なぜなら」。
- (3) 4行目に「すべての魚を調べるのはむずかしい」とあり、その理由が直前に書かれています。

《問題VI》

論理的表現力

(20点)

●答え

- 第一問 (1) イ (2) カ (3) ア
- 第二問 (1) 西
- (2) スーパーマーケット
- (3) 駅 (4) 北 (5) 交番
- (6) 東 (7) 北

■配点

第一問 各2点 第二問 各2点

◆解説

地図を見て、ありのままにせつめいする力をためします。

第一問 地図をよく見て答えましょう。

第二問 第一問をもとに答えましょう。

- (1) 小学校は川の西がわ。
- (2) (3) 線路の南にはスーパーマーケット、その向かいには駅があります。
- (4) (7) 駅から病院への最短ルートを考えます。まず、北へ進み、交番を通って一つの目の交差点を東に曲がります。すると北がわに病院があります。